

DIA メディカル・アフェアーズフォーラム 2020

— 価値を生み出す将来のMAとは? —

2020年9月24日(木) 10:00~17:10
WEB (Webinar) 開催

プログラム概要

メディカルアフェアーズ (MA) は、製品の販売活動を担当する部門から独立し、医学的又は科学的な知識をベースに医師などの医療従事者のニーズを把握し、必要な情報を創出、提供し、医療の価値の最適化を通して、患者さんの生活の向上に寄与すること目的とした部門とされています。日本製薬工業協会においてはMA部会が発足し、昨年「メディカルアフェアーズの活動に関する基本的考え方」が発表されました。その中では、MAのミッションは、「すべての患者さんへ最適な医療を届けるため、① アンメットメディカルニーズを充足させる医学・科学的なエビデンスを構築し、医療関係者等へ情報発信する。② 高度又は最新の科学的知見等を用い、医学的・科学的交流を社外医科学専門家に対し行う。」と記されています。しかしながらMAは、製薬企業において比較的新たに設立された部門であり、部門の業務範囲、役割、期待値は会社により様々であり、大きな期待がMAに寄せられつつも、理想と現実の狭間で悩むことがあると思います。

また近年、製薬企業をとりまく外部環境の変化が著しく、デジタル技術をはじめとしたテクノロジーの発達や、リアルワールドデータ(RWD)の利活用が注目され、各社が新薬開発や、医療経済評価、有効性・安全性評価、顧客分析等に対する取り組みをデジタルプラットフォームやツールを活用して強化しているところと思います。また利用できるデータベースも次世代医療基盤法施行、疾患レジストリの活用等により、さらに拡大することが予想されます。このような大きな変化が起こりつつある中、各社のMA部門では、如何に医療に、またその先にいる患者さんに付加価値を提供できるのか、日々創意工夫をされております。

今回のMAフォーラムでは、現在までのMA活動を振り返りながら、今後MAで大きな役割を期待されている「アンメットメディカルニーズの同定」と「エビデンスの創出」という二つに焦点をおきます。この2つの役割においては先述のデジタルやRWDの利活用に関する課題もありますが、各社の具体事例を紹介して頂き、Best practiceやlessons learnedと一緒に考えます。さらにアカデミアの立場からは、製薬企業のMAに対してどのような期待を持っているのか、アカデミアと製薬企業がコラボレーションするにあたり、MAが果たすべき役割は何かということについても、プレゼンテーションをいただき、議論を深めていきます。またフォーラムの最後では、「医療、患者さんに付加価値を提供していくために、企業とアカデミアがどのような変革を遂げていくべきか」のあるべきMA像をパネルディスカッションにおいて議論をする予定です。

企業のMA部門の方はもちろんのこと、MA部門と協働する企業の各部門の方、MA部門とコラボレーションをされているアカデミアの方など、一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしています。

参加対象者

- 製薬企業のメディカルアフェアーズ部門担当者
- ファーマコビジランス担当者
- メディカルコミュニケーション担当者
- メディカルインフォメーション担当者
- 臨床開発担当者
- データベース事業担当者
- マーケティング担当者
- 規制当局の方
- アカデミア、医療機関における実用化研究に携わる研究者、医師
- このテーマに課題や興味を持たれている方

※ 講演及びディスカッションはすべて日本語資料及び日本語のみで行います。



Nihonbashi Life Science Building 6F,
2-3-11 Nihonbashi-honcho, Chuo-ku Tokyo
103-0023, Japan
Tel +81.3.6214.0574 Japan@DIAGlobal.org

DIA Global Center: Washington, DC, USA | Basel, Switzerland |
Beijing, China Horsham, PA, USA | Mumbai, India | Tokyo, Japan



プログラム委員会

プログラム委員長

- ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
- 西馬 信一

プログラム副委員長

- グラクソ・スミスクライン株式会社
- 浦島 直

プログラム委員

- ノバルティスファーマ株式会社
- 戸田 光俊
- ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
- 宇野 修司
- アステラス製薬株式会社
- 渡辺 哲也

DIA Japan Operation Team

- Ubie株式会社
- 永見 早耶花

※ Virtual展示 (ランチョンセミナー) あり

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

DIAGlobal.org

10:00-10:15 開会の挨拶

一般社団法人 ディー・アイ・イー・ジャパン

西條 一

プログラム委員長／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

西馬 信一

※WEB講演のため、講演時間が多少前後する可能性があります。

10:15-12:00 基調講演

※途中、ブレイクあり

座長

プログラム委員長／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

西馬 信一

メディカルアフェアーズの活動に関する基本的考え方

大日本住友製薬株式会社

西村 剛

日本製薬工業協会では2019年4月に、会員会社と医療関係者等との間でMA活動に対する共通理解を促進し、患者ベネフィットの高い医療に貢献するため、「MAの活動に関する基本的考え方」を公表した。その後発足したMA部会では、「基本的考え方」の徹底とあるべき姿の追求、エビデンス構築促進に関して検討を行っており、その取り組み内容を紹介する。

Academiaから見たMA/MSLに対する期待 製薬企業と医療関係者とのコミュニケーションの向かうところ

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

中村 治雅

製薬会社においては、医療関係者との医学的・科学的な交流の役割を担うMA/MSL 活動に関して、国内外で基本的考え方が公開されています。このような活動は、医療機関で診療・研究等に従事する医師の立場からみて、どのように見えているのか、また我々はMA・MSLに何を期待しているのかについて、議論したいと思います。

社会構造の変化とメディカルアフェアーズの立ち位置

株式会社ミクス

沼田 佳之

新型コロナウイルス感染症は、命の安全保障たる医療の姿を多くの国民に喚起した。もちろん革新的新薬が長寿社会の実現に貢献したことは言うまでもない。ただ、今回の感染症との闘いを通じ、改めて製薬産業が克服すべき課題も明確化された。誰もが病を克服し、安心して暮らせる社会を実現するために、企業やMAに求められる新たな役割を提言したい。

12:00-13:15 セッション 1**Insight Capture**

座長

ノバルティスファーマ株式会社

戸田 光俊

Patients Medical Needs (PMN) の活用：Lillyにおける取組と課題

日本イーライリリー株式会社

今岡 文士

製薬企業のMedical affairs部門として、顧客である患者さんや医療従事者との様々なタッチポイントからUnmet Patients Medical Needsを把握して、それらの深堀を通してClinical Insightsを理解し、適切なソリューションを創造、提供していくことが重要である。弊社におけるこれら一連のプロセスを紹介するとともに、これまでの経験から抽出された課題や、外部環境の変化に伴う今後のチャレンジについて参加者の皆さんと議論をしていきたい。

消費財メーカーなどの他業界では、インサイトをどう定義しビジネスに活用しているか？

株式会社インサイト

桶谷 功

他業界、特に一般消費者を対象とする消費財メーカーやサービス業、IT系テック企業等にとって、インサイトを正確に把握し戦略立案することは、事業を創出・拡大し成功に導く上で必須であり、各社が独自のメソッドを確立・進化させています。当講演では、様々な業界のトップ企業にインサイト活用のコンサルティングを行ってきた豊富な実例をもとに、インサイトをビジネスで活用する戦略的な道筋をお伝えします。

質疑応答

本セッションの講演者

13:15-14:15 ランチブレイク ※ランチョンセミナー

13:30-13:50 リアルワールドデータ株式会社

13:50-14:10 エクサウィザーズ株式会社



EXAWIZARDS

14:15-15:15 セッション 2

Best Practice for Evidence Generation

座長

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

宇野 修司

COVID-19が引き起こすエビデンス創出活動のパラダイムシフト

ノバルティスファーマ株式会社

大山 尚貢

近年RWDを活用したエビデンス創出活動が着目されながらもそれらのデータは補助的な位置付けであった。しかしCOVID-19の流行に直面したことで、我々はこれまでのエビデンス創出活動の在り方を再考する必要性に迫られている。本講演では今後予想されるパラダイムシフトをふまえた上で弊社のエビデンス創出活動を紹介し議論の礎としたい。

アカデミアから見た企業とのevidence generationに関するコラボへの期待

慶應義塾大学 臨床研究推進センター

和田 道彦

Clinical Innovation Networkコンセプトがナショナルセンターを中心に議論され、規制当局サイドでも2018年にPMSからデータベース調査に、2019年にレジストリ相談枠が開設され、いよいよReal world data/evidenceが現実のものとなる機運が高まっている。果たして、どの程度産学で準備が整い足並みが揃えられるのか、また、各企業MAが考えるData generation/Evidence generationは、Academia needsとMatchingするのか、ARO・臨床研究中核・拠点という観点から議論したい。

質疑応答

本セッションの講演者

15:15-15:30 ブレイク

15:30-17:00 パネルディスカッション

MAのあるべき姿を語ろう!

座長

グラクソ・スミスクライン株式会社

浦島 直

アステラス製薬株式会社

渡辺 哲也

基調講演および2つのセッションを通じて見いだされた期待される将来のMA像に向けて、その課題および克服方法等について、パネリストの方々とともに大いに議論したいと考えております。参加者の皆様からも積極的な発言をいただければと考えております。

パネラー

本セッションの講演者、および

プログラム委員長/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

西馬 信一

17:00-17:10 閉会の挨拶

プログラム副委員長/グラクソ・スミスクライン株式会社

浦島 直

DIAのプログラムにて発表される内容は発表者本人の見解であり、所属する組織あるいはDIAのものとは限りません。

プログラム及び講演者は予告なく変更される場合があります。

書面による事前の合意なく、DIAのプログラムの情報を録音もしくは撮影することは、いかなる形態であっても禁止されています。

会議参加申込書

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン Fax:03-3278-1313

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11
日本橋ライブサイエンスビルディング6F Tel: 03-6214-0574

DIA メディカル・アフエアーズフォーラム 2020

[カンファレンスID #20319]

2020年9月24日 | ※WEB(Webinar)開催

◆ 参加申込方法

DIAウェブサイト(www.DIAglobal.org)よりお申し込み頂くか、この申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメール添付Japan@DIAglobal.orgにてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。

◆ 年会費及び参加費

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいてから翌年同月末まで1年間有効です。DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典も得られます。不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。

① 年会費

現在会員でない方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

*参加費の早期割引価格は現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみ適用されます。会員資格が失効している方および非会員の方は、ぜひこの機会にぜひご登録ください。

*アカデミア会員資格にお申し込みの方は、本申込書をディー・アイ・エー・ジャパンまでFAXもしくはメールにてお送りください。

Membership(有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥17,500(税抜)	¥19,250(税込)
2-Year Membership(有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥31,500(税抜)	¥34,650(税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥12,000(税抜)	¥13,200(税込)

② 参加費

所属カテゴリーと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

会 員	一般	早期割引:2020年9月10日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥23,200(税抜)	¥25,520(税込)
		2020年9月11日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥25,600(税抜)	¥28,160(税込)
政府関係 非営利団体 大学関係 医療従事者	一般	早期割引:2020年9月10日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥10,800(税抜)	¥11,880(税込)
		2020年9月11日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥12,500(税抜)	¥13,750(税込)
非 会 員	一般	<input type="checkbox"/>	¥39,600(税抜)	¥43,560(税込)	
	政府関係/非営利団体	<input type="checkbox"/>	¥26,000(税抜)	¥28,600(税込)	
	大学関係/医療従事者	<input type="checkbox"/>	¥21,600(税抜)	¥23,760(税込)	

③ 合計金額(①+②): 合計 _____ 円

*最終確定金額は、DIA Japanからお送りする受領書メールにてご確認ください。

DIA Japan 使用欄	
Date	
No.	
受領書 送付	
Invoice	
入金	

◆ お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振り込み手続きを行ってください。

クレジットカード 使用可能クレジットカード(いずれか1つにチェック) VISA MasterCard JCB

カード有効期限(mm/yy) _____ カード番号 _____

カードご名義 _____ ご署名 _____

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名または請求書番号を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。振込に関する手数料は、振込人負担をお願いいたします。

アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name(姓) <input type="checkbox"/> Dr. <input type="checkbox"/> Mr. <input type="checkbox"/> Ms.	First name(名)	Company		
Job Title	Department			
Address	City	State	Zip/Postal	Country
Email(必須)	Phone Number(必須)	Fax Number		

* 参加のキャンセルは、お申し込み受理後、2020年9月17日までは手数料として一般会員・非会員とも10,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも5,000円を申し受けます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けますのでご注意ください。同一会社からの参加変更は可能ですが、その際はお早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。会場は変更される場合がありますので予めご了承ください。

* DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。

* 本会議では、DIAの宣伝活動に使用する目的で、開催期間中に参加者を含む映像・写真を撮影することがあります。本会議の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを許諾するものとします。

【DIAが取り扱う個人情報について】お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。

またWeb会議では、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載した情報を利用し、開催期間及び開催後2週間程度、参加者、関係者、展示企業とのネットワーキングに活用いたします。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取扱いにご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。